

仏教百人一首

―万葉の歌人から宮沢賢治まで

おおかど おさむ
大角 修著
▼46判・並製カバー・250頁・本体一、四〇〇〇円十税

2021年2月刊行



和歌や俳句に仏や寺がよく詠まれており、心に響く日本の仏教を伝えていく。古代から近現代まで、仏教のあゆみを歌でたどる。皇族・貴族・僧侶・遊女、近代の童謡作家にいたるまで、仏教をよみこんだ意外な歌も紹介！

【目次】

「はじめに」歌でたどる日本仏教のあゆみ

第一部 飛鳥・奈良時代

家ならば妹が手まかむ草枕
北山にたなびく雲の青雲の
巻向の山辺とよみて行く水の

聖徳太子
持統天皇
柿本人麻呂
ほか

◆仏教の伝来

第二部 平安時代

阿耨多羅三藐三菩提の仏たち
法性のむろと、いへどわがすめば
おほかたに過ぐる月日をながめしは

伝教大師最澄
弘法大師空海
慈覚大師円仁
ほか

◆出家する女と男

第三部 鎌倉・室町・安土桃山時代

月影のいたらぬ里はなけれども
和らぐる光や空に満ちぬらむ
浄土にも剛の者とや沙汰すらん

法然上人
寂蓮法師
熊谷直実
ほか

◆武士の歌詠み

第四部 江戸時代

心たにまことの道に入ならば

沢庵和尚

◆著者略歴

一九四九年、兵庫県姫路市生まれ。東北大学文学部宗教学科卒。宗教評論家。有限会社「地人館」代表。著書は『日本仏教の基本経典』（角川選書）『法華経の事典』『浄土三部経と地獄・極楽の事典』（春秋社）『全品現代語訳 法華経』『全品現代語訳 浄土三部経』『全品現代語訳 大日経・金剛頂経』（角川ソフィア文庫）『天皇家のお葬式』（講談社現代新書）『平城京全史解説』（学研新書）『新・日本の歴史』全5冊（小峰書店）など多数。

「おわりに」百人一首を編む
引用・参考文献

せめて世をのがれしかひの身延山
作りおく三世仏の家なれや

元政上人
円空上人
ほか

◆道歌・道話の時代

第五部 近現代

荒れはて、千代になるまで鐘の音の
わが庵は膝を入るるにあまりあり
廬舎那佛仰ぎて見ればあまたたび

福田行誠
積宗演
森鷗外
ほか

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
大角 修著	法藏館
ISBN: 978-4-8318-5717-0 C0092	本体一、四〇〇〇円十税
仏教百人一首	住所
―万葉の歌人から宮沢賢治まで	お電話
お名前	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文芸